

### 「猫魔ヶ岳の実踏と雄国沼散策」

6月21日、所の専門職らとともに猪苗代町と北塩原村にある、「猫魔ヶ岳」に登ってきました。私は、猫魔ヶ岳に登るのは初めてです。

猫魔ヶ岳は、標高1403m、磐梯山の西側に位置します。

珍しいこの山の名前は、昔、化け猫が住み着いて人を食べていたという伝説のよるものと言われています。また、食料をねずみに食い荒らされて困っていた慧日寺（えにちじ）の僧が、ネズミ退治のため、猫王を山に祀ったとの伝説もあります。

それらの伝説にちなんだ「猫石」とよばれる大きな岩が山頂すぐ西側にありました。

まず、バスで八方台駐車場まで移動します。ご存知のように八方台は、磐梯山の登山口の一つでもあります。猫魔ヶ岳の登山口の一つでもあります。トイレを済ませ、いよいよ出発。今日のガイドさんは、佐藤さんです。

比較的なだらかで、木漏れ日の差す登山道を2時間ほど登ると頂上につきました。東に磐梯山、南に猪苗代湖と、猪苗代町と磐梯町、北は檜原湖をはじめ裏磐梯湖沼群。そして西側には会津盆地を一望できる絶景スポット。

天気も良くしばしその絶景に酔いしれ、疲れは飛んでしまいました。登山道の途中には、ギンリョウソウ（別名 幽霊花）の可憐な花が恥ずかしそうに咲いていました。

今度は、雄国沼を目指します。上り下りを繰り返し、しばらく下りの坂道、1時間半で雄国沼につきました。

ここら一带は、携帯電話がつながりません。

雄国沼は、ニッコウキスゲとコバイケイソウの黄色と白の花が満開。周囲の湿原一帯が、花畑です。多くの方々がハイカーとしてやってきていました。

このコースは、それほど不可も少なく、小学校の中学年でもあるけるコースか  
もしれません。そしてこの時期、湿原に咲く花の美しさを堪能できます。

どうぞ皆さんも、登ってみてください。

(文責 所長 福 士 寛 樹)